第１回全日本視覚障害者
ボウリング個人選手権大会

2019 年 6 月 9 日(日)

MK ボウル上賀茂

Blind Bowling Congress Japan

主催:一般社団法人
全日本視覚障害者ボウリング協会

協力:日本ボウリング機構
一般社団法人京都府ボウリング連盟
MK ボウル上賀茂

ご挨拶

一般社団法人全日本視覚障害者ボウリング協会
会長　　青松　利明

本大会は、これまで開催してきた西日本視覚障害者ボウリング大会を発展的に受け継ぎ、全日本視覚障害者ボウリング個人選手権大会として、初めて開催いたします。大会の目的は、視覚障害者のスポーツボウリング競技者の拡大及び育成、強化を図り、視覚障害者の社会参加並びに福祉の増進に寄与することです。

大会開催にあたり、MK ボウル上賀茂および一般社団法人京都府ボウリング連盟の皆様には、多大なるご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

ボウリングは、ピンの大きさやレーンの長さなどのプレイ環境が常に一定であり、安定したフォームを身につけることで、スコアが向上します。また、ボールがピンを倒す音によって、爽快感を味わうことができます。そのような点で、視覚障害者にとって取り組みやすく、充実感の得られるスポーツです。将来はパラリンピックの競技として採用される可能性もあります。

本大会を通じて、各選手の競技力が向上し、選手、役員等、全ての参加者の親睦がますます深まることを期待しております。そして、多くの皆様に視覚障害者ボウリングの魅力を知っていただき、今後の競技者並びに支援者がさらに増えることを願っております。

今大会がこのように盛大に開催できることは、関係者の皆様方のご支援とご協力の賜物です。本大会および当協会の活動に助成、後援、協力、協賛いただきました各団体・個人の皆さま方に深く感謝申し上げます。

【第１回全日本視覚障害者ボウリング個人選手権大会　大会役員】

大会会長
　青松　利明（一般社団法人全日本視覚障害者ボウリング協会　会長）

大会副会長
　上野　文雄（一般社団法人全日本視覚障害者ボウリング協会　副会長）

大会委員長
　小原　　勉（一般社団法人京都府ボウリング連盟　副会長）

大会顧問
　伊藤　友哉（MK 株式会社アミューズメント事業本部　マネージャー）

大会総務委員長
　不破　伸二（公益財団法人全日本ボウリング協会　理事・一般社団法人全日本
　　視覚障害者ボウリング協会　強化委員会委員）

大会競技委員長
　内藤　　茂（一般社団法人京都府ボウリング連盟　理事）

大会記録委員長
　横田　正一（一般社団法人京都府ボウリング連盟理事）

大会事務局長
　佐藤　紀子（一般社団法人全日本視覚障害者ボウリング協会　事務局長）

大会事務局次長
　荒井　義之（一般社団法人全日本視覚障害者ボウリング協会強化委員会委員）

大会事務局
　飯島　祥行　　今井　双葉　　金　　惠珍　　鮫島　千恵子　　杉山　眞理子
　谷口　久夫　　山下　知且

大会補助員
　川崎　治夫　　千原　三千代　　市川　正明　　播本　雄輔　　神山　文雄
　野呂　貞之　　堀　　富男　　山口　あや　　中谷　眞二

大会ドクター　　青島　優

大会トレーナー　　塚田　鉄平　　富井　利一

第１回全日本視覚障害者ボウリング個人選手権大会

開会式次第

2019年６月９日（日）９：30　MK ボウル上賀茂

１．開式通告

２．主催者挨拶　一般社団法人全日本視覚障害者ボウリング協会

会長　青松　利明

３．歓迎挨拶　MK 株式会社アミューズメント事業本部

マネージャー　伊藤　友哉

４．競技規定説明　一般社団法人京都府ボウリング連盟

理事　内藤　茂

５．選手宣誓　髙木忍（東京都）

６．閉式通告

表彰式・閉会式次第

2019年６月９日（日）13：20　MK ボウル上賀茂

１．開式通告

２．成績発表

３．表彰　プレゼンター

一般社団法人全日本視覚障害者ボウリング協会　副会長　上野　文雄

一般社団法人京都府ボウリング連盟　副会長　小原　勉

MK 株式会社アミューズメント事業本部　マネージャー　伊藤友哉

４．挨拶　一般社団法人全日本視覚障害者ボウリング協会　副会長　上野　文雄

５．閉式通告

第1回　全日本視覚障害者ボウリング個人選手権大会　参加者

No.	クラス	性別	氏　名	ふりがな	所属
1	B1	男子	井　上　直　也	いのうえ　なおや	東京都
2	B1	男子	梅　津　茂　俊	うめつ　しげとし	福岡市
3	B1	男子	大　杉　勝　則	おおすぎ　かつのり	広島市
4	B1	男子	谷　口　光　春	たにぐち　みつはる	仙台市
5	B1	男子	森　寛　樹	もり　かんじゅ	東京都
6	B1	男子	HWANG　YOONSEOK	ふぁん　ゆんそく	韓国
7	B1	女子	井　上　智　恵　美	いのうえ　ちえみ	広島市
8	B1	女子	江　村　圭　巳	えむら　たまみ	東京都
9	B1	女子	髙　木　綾　子	たかぎ　あやこ	東京都
10	B1	女子	JEONG　JEONGAE	じょん　じょんえ	韓国
11	B1	女子	KIM　HYUN	きむ　ひょん	韓国
12	B2	男子	小　林　和　明	こばやし　かずあき	福岡県
13	B2	男子	髙　木　忍	たかぎ　しのぶ	東京都
14	B2	男子	田　村　潤　次	たむら　じゅんじ	福岡市
15	B2	男子	戸　川　和　夫	とがわ　かずお	東京都
16	B2	男子	比　嘉　一　盛	ひが　かずもり	沖縄県
17	B2	男子	堀　内　清	ほりうち　きよし	北海道
18	B2	男子	森　透	もり　とおる	奈良県
19	B2	男子	PAENG　MOONKYU	ぺん　むんぎゅ	韓国
20	B2	男子	PARK　KIWON	ぱく　きうぉん	韓国
21	B2	男子	PARK　SEONJU	ぱく　そんじゅ	韓国
22	B2	男子	DO　HAKGIL	ど　はっぎる	韓国
23	B2	女子	岩　下　由　美　子	いわした　ゆみこ	福岡市
24	B2	女子	椎　葉　美　貴　子	しいば　みきこ	福岡市
25	B2	女子	信　太　紀　子	しだ　のりこ	横浜市
26	B2	女子	BAEK　SUNJA	ぺく　すんじゃ	韓国
27	B3	男子	阿　部　安　浩	あべ　やすひろ	東京都
28	B3	男子	井　上　徳　浩	いのうえ　のりひろ	広島市
29	B3	男子	尾　崎　登　志　夫	おざき　としお	福岡県
30	B3	男子	清　杉　政　敏	きよすぎ　まさとし	札幌市
31	B3	男子	寺　平　圭　佑	てらひら　けいすけ	京都府
32	B3	男子	牧　野　文　輝	まきの　ふみてる	奈良県
33	B3	男子	松　浦　忠　利	まつうら　ただとし	愛知県
34	B3	男子	三　浦　和　樹	みうら　かずき	京都府
35	B3	男子	三　苫　典　之	みとま　のりゆき	福岡市
36	B3	女子	近　藤　美　保	こんどう　みほ	福岡市
37	B3	女子	多　和　田　ま　き	たわた　まき	沖縄県
38	B3	女子	藤　川　明　美	ふじかわ　あけみ	福岡市
39	B3	女子	森　澤　亜　希　子	もりさわ　あきこ	東京都

第１回全日本視覚障害者ボウリング個人選手権大会　競技規則

１　原則

この規則に定める以外は､公益財団法人全日本ボウリング協会競技規則及び国際視覚障害者スポーツ連盟､視覚障害者用テンピン･ボウリング・ルールによるものとする。

２　クラス分類

B1：LogMar2.6 より視力が低い（小数視力換算：0.0025 未満）
　　競技中はアイマスクまたはアイシェードの着用を義務付ける
B2：視力 LogMar1.5～2.6（小数視力換算：0.0025～0.032）および・または視野直径 10 度以内
B3：視力 LogMar1.4～1.0（小数視力換算：0.04～0.1）および・または視野直径 40 度以内
※視力は矯正視力の良いほうの目で評価する
※視野はゴールドマン視野計のⅢ/4e の直径の範囲で評価する

☆LogMAR（ログマー）とは IBSA（国債視覚障害者スポーツ連盟）のクラス分けに使用されている視力の程度を表す単位
日本では一般的に小数視力が使われており､数値が低いほど低視力となる。一方、LogMAR は数値が大きいほど低視力となる。

３　競技種目

個人戦：
個人戦はクラス別（B1、B2、B3)、男女混合で実施し、６ゲームの総得点で順位を決定する。ただし、女子選手には１ゲームにつき 10 点のハンディキャップを加算する。

４　補助具等

（１）B1、B2 の選手については、必要に応じて方向確認のためのガイドレールを主催者が設置する。ガイドレールは高さ 94cm, 長さ 370cm とする。ガイドレールはガター内側より板２枚外側で, レールの先端はファールライン手前 40cm の位置に設置される。
（２）B1 の選手は、アイシェードまたはアイマスクを準備し、正しく着用のうえ競技しなければならない。

５　競技方法

B1 選手および B2 のガイドレール使用選手はシングルレーン（ヨーロッパ）方式とする。B2 のガイドレールを使用しない選手と B3 選手はデュアルレーン（アメリカン）方式とする。

６　レーン配当

レーン配当は主催者が決定する。

７　競技中のサポート等

競技中のサポートは、原則として競技役員のみとする。

競技役員の役割

各ボックスには 1 名ないし 2 名の競技役員が配置される。競技役員は選手の以下の要望に応えるものとする。

① アプローチ上の誘導
② 残ピン及び投球後のボールの方向確認
③ 投球動作前の立ち位置の確認
④ スコア確認
⑤ ボールピックアップの補助

８　禁止事項

（１）投球動作時の介助及び言葉による指示はできない。
（２）ガイドレールは、方向確認のみに使用するものとし、バランスをとるために使用してはならない。
（３）マット・テープ・パウダーの使用等、競技場の物理的な変更をしてはならない。

９　服装

服装については、競技にふさわしい服装で臨むこと。

ポロシャツなど襟付きのシャツと長ズボンやスラックスを着用のこと。女子は，スカート，ショートパンツを着用しても良い。

障がい者の方を毎年観戦にご招待「山田 幸プロと撮ってもらえてうれしいです。」

プロボウラーも寄付活動に参加

ボウリングで広がる

チャリティの輪

視覚障害者ボウリングへの支援も

福祉施設の販売ブースに姫路麗プロも注目!!

送迎車を寄付。「やった! 新しい車!」

寄贈先の施設を訪問。チャリティがどう使われるかを知ります。

毎年9月 京都・上賀茂で開催!

第12回大会男子優勝
川添 奨太プロ

MK チャリティカップ

チャリティオープンボウリングトーナメント

第12回大会女子優勝
寺下 智香プロ

http://www.mk-group.co.jp/charitycup/

公益社団法人日本プロボウリング協会公認

MKボウル上賀茂

京都市北区上賀茂西河原町1-1　TEL.075-701-2131

賞金総々額 1,040万円
※第13回大会実績

男子優勝副賞
アクア
提供：神戸トヨペット株式会社

女子優勝副賞
ノートe-POWER
提供：日産自動車販売株式会社

チャリティ金で福祉施設に福祉用具寄贈

本大会は２００を超える法人・個人のご協賛をいただき開催、収益金の一部に加え、公益社団法人日本プロボウリング協会、並びに、協賛各社からのチャリティ金を障がいがある方々の福祉向上に役立てていただいています。

出場選手

男子／合計144名
プロ選手　108名
アマチュア選手　36名

女子／合計96名
プロ選手　72名
アマチュア選手　24名

MKボウル専属プロ
石橋 孝

MKグループサポートプロ
酒井美佳

主催：MKグループ　後援：京都市、京都府、(公財)全日本ボウリング協会、(一社)京都府ボウリング連盟、日本ボウラーズ連盟　特別協賛：日産自動車販売株式会社、AIG損害保険株式会社、ブリヂストンタイヤジャパン株式会社、神戸トヨペット株式会社